

池田市消防本部

市民からのSOSにいち早く駆けつけ、命と安全を守る消防隊員。

消防・救急・救助、いかなる現場でも常に迅速且つ的確な動きが求められる。日々鍛錬を重ねて技術と知識を磨き、地域の安全に尽力する姿を取材した。



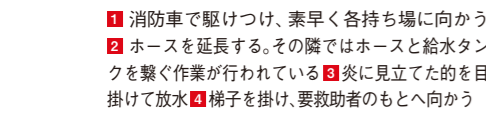
市町村の共同運営により実施されている事業で、医師や看護師が24時間365日対応。救急病院の案内や応急手当についても教えてくれる。緊急時は迷わず「119」だが、それ以外の急変時「119」するか迷った時は「#7119」に電話してみてもいい。そうすることで、また一つ、別の場所で救われる命があるかもしれない。

一刻を争う災害現場

「よしっ」に秘められた力

「確認、よしっ」と、訓練現場では緊張感のある声が飛び交う。この「よしっ」は、指示への返事、作業行為への確認など様々な意味を持つ。また「よしっ」と発することで腹にぐっと力が入り、高ぶる気持ちを落ち着かせ、足が竦むような現場でも挑む気持ちを奮い立たせる、秘めた力があるという。

取材日は「第4回大阪府下警防技術



1 消防車で駆けつけ、素早く各持ち場に向かう
2 ホースを延長する。その隣ではホースと給水タンクを繋ぐ作業が行われている
3 炎に見立てた的を掛けて放水
4 梯子を掛け、要救助者のもとへ向かう

命を救う、素早くて確かな処置 救急救命士の配置で体制強化

「消防職員は一致団結し任務達成に全力を尽します。池田市消防本部」「池消訓」の一つ。ここにある通り、消防士は日々チームワークを大切に、訓練に励み、現場に向かう。どんな現場でも隊としてどれだけ働けるかが重要です。個人の自発的な動きも、日頃のチームワークがあってこそ出るものです」と話すのは、梶田忠彦消防長。特に、昨今増加する救急現場では、如何に早く駆けつけ、的確な処置ができるか、救急隊と支援隊(消防隊と救助隊で編成)の連携が肝心だという。

池田市の平成27年中のデータによると、火災件数は23件、救急件数は5262件。建物の防火対策が進み火災は減少、一方、携帯電話の普及も一因し、救急は増加傾向にある。これを受け、「池田市消防本部」では体制を強化。救急車は3名乗車、うち2名は救急救命士を配置。救急救命士は国家資格で、医師が行う気管挿管や輸液等の高度な処置が施せる。ということとは、傷病者を搬送するだけでなく、その場で様々な処置を同時に行い、早い段階で容態の回復に尽力できるということ。このような体制が功を奏し、今年7月には、心肺停止状態の男性を蘇生させた。その男性は社会復帰で



池田市消防本部
消防長 梶田忠彦さん

「職員全員が池田市の地水利や道路事情を熟知しているため、より早くて確かな対応ができることが我々の強みです」

イベント等で市民と交流 地域に密着した啓発活動

「池田市消防本部」では、市民に向けての防火・防災啓発活動も積極的に行う。去る10月16日には子どもを対象としたイベント「消防署にあつまれ〜2016」を開催。内容は救助体験や消火器体験、けむりの恐さを知る体験など。子どもたちは目を輝かせて挑戦したそう。このような機会に消防士や防災を身近に感じて頂き、消防士って格好いいな、と、夢や希望を与えられたら嬉しい」と梶田消防長。その表情からは笑みがこぼれる。

最近では、市民との接点を深めるために、



▲ 配備されている救急車は3台。救急要請時には現場の状況によって消防車も一緒に出動する

きるまでに回復したそう。その方が元の生活に戻れてこそ人命救助」と、梶田消防長。10月4日のこ

肺停止の傷病者を蘇生させ救命できた功績は誠に顕著である」と、この事実を担当した救急隊と消防隊に賞詞が贈られた。

「119」の存在は何とも心強い限りだが、救急の対策として知っておきたいこともある。「#7119」救急安心センターにおおさかだ。大阪府内全43



1 現場に到着した時には要救助の男性は心肺停止状態。奥さんが心肺蘇生をしていた。即座に気管挿管、静脈路確保、点滴措置等を人で連携して行い、病院に搬送。連携が功を奏し、男性は蘇生し、社会復帰を果たした。(左から)水田 歩さん、川島 昂さん、北田 健次さん



2 長年の功績を賞される「平成28年度救急功労者表彰 消防庁長官表彰」を受ける源 克己さん(池田市消防本部 消防署第2 警備課長(写真左))



1 2 「消防署にあつまれ〜2016」は救助体験や消火器体験、救急車搭乗体験等、わくわくする企画が満載。子どもたちは憧れの消防士の仕事を体感し、目を輝かせていた
3 2017年の「池田市消防出初式」は1/8(日)。時間や内容についてはホームページ等で公開。一糸乱れぬ行進や、迫力満点の一斉放水。訓練披露は必見だ

フェイスブックを開設。「池田市消防本部」のアカウント名で検索でき、訓練の様子やイベント内容などを知ることができる。秋の「全国火災予防運動(11月9日〜15日)」には身近な防火・防災対策をまとめた「消防だより」を配布予定。来年1月8日には恒例の「池田市消防出初式」を「猪名川運動公園」にて開催。迫力ある一斉放水や、訓練披露など、消防士の仕事ぶりを間近に見ることが出来る。突然の火災や事故、傷病時には、発見者の対応も命を左右する。私たち市民も、命を繋ぐ一員として日頃から防火・防災について考えたい。

information

池田市消防本部
住所：池田市八王寺 1-2-1
TEL：072-751-0119